２０１３年８月 24 日（日曜）

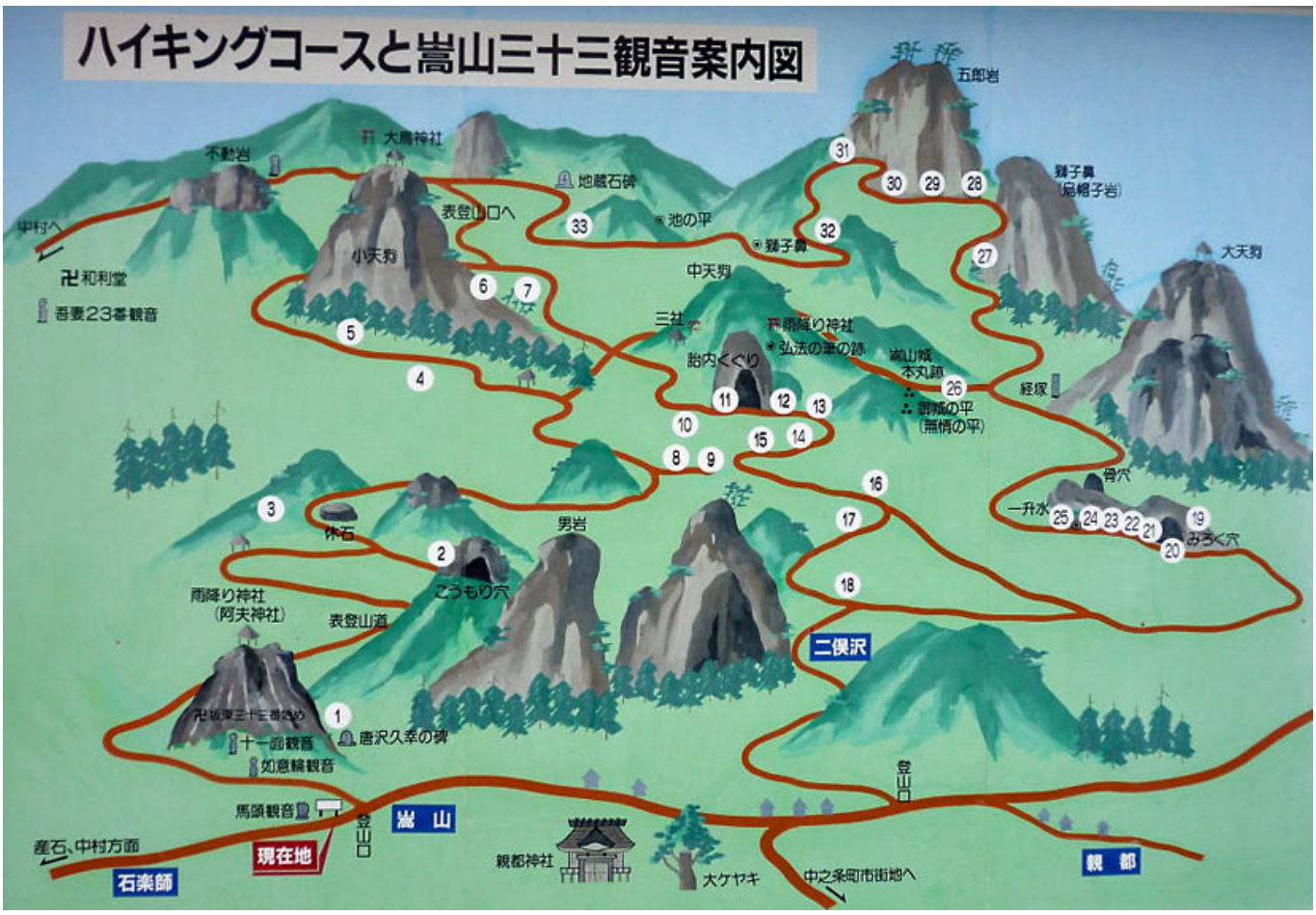
嵩山（789m）

レポート by　熊本

日本百低山（小林康彦：文春文庫）で紹介され目に留まった山「嵩山（たけやま）」は、吾妻線の中之条駅から車で 15 分ほどのところにあり、岩場や鎖場があり初心者からベテランまで楽しめる。

参加者は、丸山さん、布目さん、小山さん、岡部さん、白井さん、竹内さん、高橋文さん、熊本の８名。

高崎駅で吾妻線に乗り換え、中之条まで約 50 分で 10:03 に到着。駅からタクシーで表登山口まで 15 分。



表登山口にある案内図で、表示されたモデルコースとほぼ同じコースを行程とした。

タクシーで表登山口に到着。

鳥居が登山口で情報に岩場の絶壁（男岩）が見える。

岡部さん指導で、ストレッチ体操で体を解し登山準備を完了。

東京を出るときは雨が降っていて心配したが、渋川を過ぎたあたりから天候が回復し、雨の心配はなさそうだ。

10:30 登山開始し、鳥居をくぐって行く。

鳥居を過ぎると、階段状の登りになる。

階段を登り終えると直ぐ、右手に大きな岩があり、その麓に観音像があった。「一の木戸」とあり、嵩山城の一番外壁の門（大手門）跡のようである。

直ぐに樹林帯となる

登り始めて10分程で五合目に到着した。標識や案内図が多数あり良く整備されている。

更に 5 分ほど登ると、展望台に到着。
東屋がある(10:45)。

上空には青空が広がり始めて、暑くなってきた。
高々15 分登っただけだが、背中は汗でビッショリになった。
この嵩山で出会った花を写真のみ、下記に載せている。

更に 5 分ほど登ると、登山道に岩稜が出初め、岩山の片鱗を見せ始めた。

岩稜の登山道を登り切ると、広い「天狗の広場」に出る。近くには東屋もあるが、ここで最初の休憩をとる。(11:00)
布目さんが持ってきた梨を皆で頂く。
甘く瑞々しくて、乾いた喉に旨い。

天狗の広場に重いザックを置いて、
空身で小天狗に向かう。

小天狗は岩峰のピークであり、祠が祭
ってある。

第一の難関をクリアーして万歳！

小天狗は嵩山の西端にあり、２７０度の展望は素晴らしく、下から吹き上げる風が爽やかで汗ばんだ肌に気持ちが良い。記念の集合写真（11:18）

慎重に岩山を下る。

岩峰を無事下りきってホットしたところで・・・

東方に大天狗のピークが見えてきた。

大天狗、五郎岩、東登山道の分岐点が経塚で東屋がある。
ここにザックを置いて大天狗に向かう。

嵩山城本丸跡の観音像が 70 対設置されていた。

大天狗への登りは鎖場が延々と続く。

鎖に頼らず、岩の手掛かりをシッカリ確保して体を引き上げる。
3 点支持をシッカリ守って安全確保。

鎖場は長く 30m 以上はありそうだ。
この長い鎖場を何とかクリアーする。

最後の岩峰を登りつめれば、大天狗の山頂（789m）で祠があった。(11:50)

山頂は狭いが 360 度の展望は素晴らしい。ホット一息入れる。

下りは慎重に安全確保のために、厳しいところは鎖を利用して下山する。

東屋に戻り、ここで昼食にする。
小山さん、布目さんが色々な煮物や漬物を持参してくれ皆でご相伴にあずかる。（12:30）

昼食を終え、東屋に荷物を置いて東端にある五郎岩に行く。

五郎岩に行く途中に烏帽子岩があり、大天狗の東直下にあった。

烏帽子岩から更に 5 分程東に進むと、五郎岩の上に出る。ここは断崖絶壁の上にあり展望が良い。

本日最後のピーク＆展望場所で女性陣はピース。

再び東屋に戻りザックを担いで、東登山道登山口に向かって下りる。

途中に大岩壁（高さ 100m？）があり、その中腹に弥勒穴がある。
覗きに行くと弥勒菩薩が祭ってあった。（13:23）
ここから 15 分で東登山道口の
道の駅「たけやま」に着いた。
（13:40）ここでタクシーを呼び、
大塚温泉に向かう。

嵩山から車で、20 分で鄙びた田舎の田圃の中に大塚温泉はあった
表玄関は宿泊者用で、日帰り温泉客はこの裏手にある。

日帰り温泉客の受付がここ

日帰り温泉客の温泉入口

源泉温度が 34.5 度で体温以下。
内湯の大浴場と大露天風呂（混浴）はこの源泉のままで加熱していない。従って長時間浸かっていることが出来る。
皮膚病の効能があることで地元近隣の人たちで結構賑わっていた。

大塚温泉を出るころには快晴になっていた。
タクシーを頼み、中之条駅へ

中之条 16:07 の特急草津 4 号は、自由席がガラガラで、恒例の車内宴会が始まり、本日の山行を振り返って話に花が咲いた。
霊山「嵩山」は 789m と低山ではありましたが、幾つかの急峻な岩峰があり岩登り、鎖場で、手軽にロッククライミングが楽しめ初心者、ベテランも満足した山でした。